

# 週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

## 第 19 回 森・川・海～清流がつなぐ未来の森造成運動の開催

—10月29日(土) 岐阜県白川町にて—

10月29日(土)、岐阜県白川町の笹原高原にて「森・川・海～清流がつなぐ未来の森造成運動」が開催された。今年で19回目の開催となる今回も、漁業関係者や関係団体などから約130名が参加。冒頭、三重漁連の湯浅常務は「漁業関係者にとって、森・川・海をつなぐりは大変重要。豊かな水をはぐくむ森づくりの大切さを、より多くの人に伝え、同時に、森・川・海に関わる全ての方々でその思いを共有できれば。」と挨拶し、白川町をはじめとする地元関係者の協力へ感謝の意を述べた。当日は天候にも恵まれ、下刈作業、枝打ち、整地などの森林整備のほか、桑名市立城東小学校の生徒による植樹が行われた。

参加者は「豊かな海は森づくりから」との意識のもと懸命に作業に取り組んだ。



小学生による植樹



## 第 67 回全国漁港漁場大会

—10月27日(木) 東京にて—

10月27日(木)、東京のメルパルクホールにおいて、第67回全国漁港漁場大会が開催された。全国から約1200人が参加し、水産物の輸出促進や沿岸環境整備など4項目が提言された。

開会にあたり、全国漁港漁場協会の橋本会長の挨拶、磯崎農水副大臣をはじめとした来賓祝辞の後、議案についての採決が行われ、賛成多数により可決された。

また、大会では、鳥羽磯部漁協監事の佐藤力生氏が生活の場としての漁港機能、鹿児島県東町漁協長の長元信男氏が漁港整備による養殖ブリ輸出伸長について講演した。

大会提言については以下のとおり。

### 大会提言

- 一、夢の持てる水産業・漁村を築くための次期長期計画の策定と平成29年度予算の確保
- 一、水産物の輸出促進等、水産業の国際競争力強化と地域の活性化に資する漁港・漁村づくりの推進
- 一、海域の生産力向上と豊かな沿岸環境の創出に資する水産環境整備の促進
- 一、多発する自然災害に備えた漁港・漁村・海岸の強靱化対策の推進



大会の様子

### 伊勢湾再生を考える三重沿岸の勉強会

—10月27日（木）津にて—

10月27日（木）津市の三重県勤労者福祉会館にて、『平成28年度第1回伊勢湾再生を考える三重沿岸の勉強会』が開催された。本勉強会は、豊かな伊勢湾の復活に向け、国、県、大学、漁業関係者の連携のもと昨年度に発足された。

座長である前川行幸三重大学名誉教授は、冒頭の挨拶で「これだけ各方面から集まる勉強会はなかなかない。全員の知恵を結集し、伊勢湾再生に向け意見を出し合い、県の長期計画である「みえ県民カビジョン」の施策として具体的な検討が図られたら。」と述べた。今回は、中部地方整備局より、『これまでの検討経緯について』、いであ（株）より、『伊勢湾の環境変化のメカニズムと三重県沿岸での浅場造成効果の推定について』、三重県水産基盤整備課より『三重県における現在の取組及び今後の施策について』、四日市港湾事務所より『四日市港における藻場再生に向けた取組について』報告後、意見交換が行われた。

### イベントのお知らせ

—11月5日（土）津、南伊勢町、尾鷲—

11月5日（土）は県内でのイベントが目白押しとなっている。

津市では、9時30分よりフェニックス通りを中心に『第11回農林水産まつり』が開催され、地元で水揚げされた水産物、加工品の販売が行われる。

南伊勢町では10時より奈屋浦市場において、『第3回お魚フェスタ南伊勢』が開催される。当日は、鮮魚・干物・地場産加工品等が販売されるほか、まぐろの解体ショーや、鯖一ガーの早食い大会も行われる。

尾鷲市では、9時より尾鷲魚市場において『第6回おわせ魚まつり』が開催される。当日は、鮮魚の刺身や寿司、大敷汁などの試食や、タッチプール、マグロの解体ショーなどの催しが行われる。



### 【主な予定】

○11月4（金）～5日（土）

・全国海女サミット（志摩市）

○11月5日（土）

・第11回農林水産まつり（津市）

・第3回おさかなフェスタ南伊勢  
（南伊勢町）

・第6回おわせ魚まつり（尾鷲市）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。